

公共施設

市民総合体育館使用に回数券制度を取り入れることの見解

常松大介議員(緑ネ) 体育館使用料に回数券制度を取り入れていない理由は、

今年10月の使用料改定ほどの程度市民に認知されていたが、改定後に寄せられた意見は、実質割引になる回数券制度を取り入れている自治体は、

教育長 利用時間の把握が難しく、また自動券売機での対応ができなかったためである。市報や掲示板で周知し、認知されていると考える。

何件か意見を聞いていたが、その都度説明をしている。多摩26市中13市である。

中央公園グラウンドを市民に開かれたものに

木村まゆみ議員(共産) グラウンドにフェンスを設置した経過と市民への周知は、グラウンドは災害時の避難場所であり、フェンス出入口

のかぎは外すべきではないか。

9月定例会で健康被害の質問をしたが、その後の状況は、花見の時期などにナイター設備を点灯できないか。

教育長 鎖を乗り越えてグラウンドを横切るほか、近隣住民からの苦情もあったため、改修工事の際フェンスを設置した。南北の2か所を常時開放しており、利用者には出入口を誘導するチラシを張り周知している。

災害時には、フェンス出入口の開放も考えている。2月に本人から窓口で説明を受けたが、体育課内部で情報が周知されずにいた。今後は、対応処理等の事務改善を行い、情報の共有化に努めたい。

周辺住民の理解を得て点灯しているが、目的外の使用、騒音等のことから難しい。

体育施設、グラウンドの利用の仕組み

齋藤 敦議員(フオ) 高齢者の体育館施設利用を促すために、シニア料金を設定しては

うか。野球・サッカーチーム数とグラウンドの応募状況は、利用についてのトラブルと対応は、

教育長 今後の検討課題として、軟式野球連盟には成人のチームが280チーム約5千6百人、児童のチームが24チーム約360人、サッカー協会には成人のチームが27チーム約900人、児童のチームが25チーム約800人いる。市立グラウンドの応募倍率は2倍から5倍程度である。

トラブルはないが、抽選方法などについて意見をもらっているため、利用の公平が図られる受け付け方法について、施設予約システムの導入も含め研究している。

花小金井北公民館の建てかえ

津本裕子議員(公明) 花小金井北公民館と花小金井保育園を建てかえた場合の試算は、複合施設の建てかえに関する市の考えは、

これまでに複合施設で建てかえを検討したものはあるか。公民館の建てかえや改修に関する基本的な考え方は、

教育長 複合施設の場合は、約4億5千万円、単独施設の場合は、公民館が約1億8千万円、保育園が約2億8千万円となる。市長 施設の単独化、複合化の方向性も含めて検討したい。

移転する東部市民センターと、小川公民館、保育園、図書館分室から成る複合施設のうち、公民館、図書館分室を分離して建てかえた。

教育長 建てかえは、今後求められる機能等を踏まえて検討する。改修は、耐用年数等を考慮し必要な修繕を行う。

上水本町地域センターに駐車場の増設を

加藤俊彦議員(公明) 駐車場の位置づけと利用状況は、地域センター公園に接した市道に利用者がよく路上駐車していると聞くが、その状況は、

地域センターや公園利用者のために、公園内に駐車場を確保できないか。市長 原則として、障害者の利用及び業務用に限り、統計はとっていない。

詳しい調査はしていないが、多いときで五、六台である。公園内に駐車場を設けることは大変危険であることから考えていない。



上水本町地域センターの駐車場

福祉

介護保険をよりよい制度にするために

西 克彦議員(共産) 障害者支援費制度との統合など国の動向に対する認識は、

このような動向では、安心して介護を受けられる制度とは言いなくなるのではないかと、国の負担増などの対応を、市長 支援費制度との統合は、

介護保険の今後の展開

苗村洋子議員(緑ネ) 介護予防サービスをどのように考え、準備を進めるのか。

小規模・多機能型サービスについての考えは、サービス給付における基盤整備の課題は何か。

市長 国の動向を見ながら、現在実施している事業等を整理・検討し、第3期介護保険事業計画の中で体系づけ、整備していきたい。

このサービスは、基本在宅宅支援とし、通いを中心に訪問や泊まりを組み合わせて提供するもので、今後の動向を見ながら検討していく課題であると考

えている。特に緊急時の短期入所と訪問リハビリテーションの提供体制が十分でない点が課題と認識している。

健康教室の充実に向けて、津本裕子議員(公明) 健康課の健康教室の実施状況、参加者の意見と市の評価は、

健康教室以外の実施状況は、現在の施策を継続する上で

の課題は、健康教室などの会場として、高齢者館、公民館、地域センターを利用できないか。

市長 平成15年度は、延べ37回、参加者数は延べ679人である。参加者からは健康結果が改善したという報告もあり、健康に対する意識や行動変化の動機づけ

になっていると評価している。昨年度、健康課が講演会を延べ5回開催し、参加者数は延べ185人である。また、高齢者福祉課が転倒・骨折予防教室、閉じこもり予防教室をそれぞれ3日間開催し、受講者数は延べ91人である。

健康課事業については、より多くの市民が参加できるよう、周知方法、会場、内容等の検討が必要と考えている。

自主グループからの要請による健康教室を地域センターなどで、転倒予防教室を地域センターと公民館で実施した。



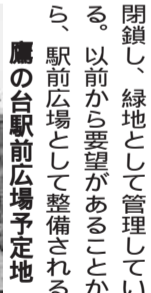
鷹の台駅前広場予定地はなぜ閉鎖したままなのか

鷹の台駅前広場予定地はなぜ閉鎖したままなのか

住田景子議員(緑ネ) U.F.J銀行北側の用地は、なぜかぎをかけたまま放置されているのか。人通りも多く、ベンチを置くだけでも市民に喜ばれると思うが、市の考えは、

市長 この用地は、マンション建設に伴い事業主から市に提供されたものであり、将来駅前広場となる可能性がある公共空地として保全することとした。この間、放置自転車の問題やこ

の不法投棄、及び防犯の面から閉鎖し、緑地として管理している。以前から要望があることから、駅前広場として整備される鷹の台駅前広場予定地



鷹の台駅前広場予定地

までの間の活用について検討していきたい。

フラワーネットワークを広げよう

津本裕子議員(公明) 市内で花や緑をふやそうとする活動に携わる団体数と、連携の必要性をどう考えるか。

フラワーバンク(花の種銀行)や苗や肥料などの情報登録制度を取り入れるべきと考えるが市の見解は、

市長 緑と花いっぱい運動の会、玉川上水を守る会、玉川上

水自生野草を守る会、あじさい公園ボランティアの会等があるが、団体の連携については、今後検討していきたい。

花づくりの推進や緑化思想の普及が図れる取り組みとして、実施について検討していく。

掲載分以外の質問項目

【医療・健康】

市議会1年間の記録(平成16年1月~12月)

【本会議】

4回の定例会が行われました。1日当たりの平均会議時間は5時間32分でした。

名称	会期	本会議日数	会議延べ時間	傍聴人数
3月定例会	2/24~3/23	5	31:52	56
6月定例会	6/8~6/29	5	27:12	123
9月定例会	9/6~9/30	6	30:12	126
12月定例会	11/30~12/21	5	26:58	47
合計	-	21日	116時間14分	352人

【常任委員会】

委員会名	開催日数	会議延べ時間	傍聴人数
総務委員会	7	24:40	14
生活文教委員会	8	25:59	111
厚生委員会	8	38:48	246
建設委員会	7	33:03	198
合計	30日	122時間30分	569人

【請願・陳情】

1年間で19件の請願と9件の陳情を受理しました。なお、平成16年12月定例会最終日に継続審査となった請願は8件です。

	前年からの継続分	受理	採択	不採択	取り下げ	審議未了	文書配付
請願	14	19	17	6	2	0	-
陳情	0	9	0	0	0	0	9
合計	14	28	17	6	2	0	9

【特別委員会】

委員会名	開催日数	会議延べ時間	傍聴人数
都市基盤整備調査	2	2:43	2
産業活性化調査	1	0:59	0
一般会計予算	3	33:10	4
特別会計予算	1	8:06	1
一般会計決算	3	31:23	3
特別会計決算	1	7:46	1
合計	11日	84時間07分	11人

基本健康診査の個別健診において胸部エックス線撮影が除外されているのはなぜか

【医療・健康】